

特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク  
2006年度活動報告(2006年9月1日~2007年8月31日)

## 1. 組織体制

同志社大学産官学連携支援ネットワーク役員一覧

理事長：八田英二(同志社大学長)

副理事長：五島 洋(弁護士：飛翔法律事務所)

理事：岩淵貴史(公認会計士：監査法人トーマツ)

片山傳生(同志社大学副学長)

眞下晋一(弁理士：三枝国際特許事務所)

中居成子(株)ハート・アンド・キャリア代表取締役)

大谷康弘(公認会計士：(株)関西ベンチャーインキュベート)

田中英司(ビービーネット(株)代表取締役)

田中 謙(英国国立ウェールズ大学経営大学院 MBA 日本語 プログラム  
アカデミック・ディレクター)

和田 元(同志社大学研究開発推進機構長)

辻内伸好(同志社大学リエゾンオフィス所長・知的財産センター所長)

脇本裕正(シニアライフプランナー：株式会社アトラクティブ 副社長)

監事：松本敏史(同志社大学商学部教授)

小田嶋淳(社会保険労務士：こころざし総合事務所)

## 2. 会員数(2007年8月31日時点)

個人：正個人会員 78人 賛助個人会員 5人 合計 83人

団体：正団体会員 12団体 賛助団体会員 5団体 合計 17団体

ご参考までに(2006年8月31日時点)

個人：正個人会員 72人 賛助個人会員 3人 合計 75人

団体：正団体会員 11団体 賛助団体会員 5団体 合計 16団体

## 3. 活動内容

同志社大学プロジェクト科目(正規授業科目)に科目提供を行う

【概要】

科目名称：'知的財産の最前線から学ぶ' -社会で役立つ知財をみにつける-

開講期間：2007年度春学期 開講校地：同志社大学京田辺キャンパス

科目担当者：NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク 副理事長 五島 洋氏

科目代表者：同志社大学工学部准教授 廣安知之氏

その他 NPO 関係講師：眞下晋一氏(弁理士)、巖瀬邦弘氏(知的財産コーディネータ)、中尾敦信氏(知的財産コーディネータ)

\*同志社大学プロジェクト科目とは？

2006年度から同志社大学の授業科目(全学共通の教養教育科目)として設置されました。本科目の趣旨と目的は「地域社会や企業の方々を講師として招き、地域社会と企業が持つ『教育力』を大学の正規の教育課程

の中に導入することです。学生に生きた智恵や技術を学ばせるとともに、『現場に学ぶ』視点を育み、学生が具体的・実践的プロジェクトに即して問題の「所在」と「解決」を考え抜く力を陶冶すること」にあります。

## イベント一覧

日時	場所	内容	講師
2006年9月20日 18:30～20:30	同志社（京田辺） 紫苑館教職員ラ ウンジ	リエゾンセミナー～異文 化に学ぶ in あじあ～ 「台湾・新竹におけるハイ テク産業・研究開発の歴史 的起源を探る」	河口充勇氏  (同志社大学技術・企業・国際競争力研究セ ンターCOE 特別研究員)
2006年10月14 日 14:00～17:00	同志社（今出川） 寒梅館地A教室	リエゾンセミナー～異文 化に学ぶ in あじあ～ 「着物文化が導く日本の 可能性」	早坂伊織氏  (男の着物新塾主催)
2006年11月18 日 14:00～19:00	マイドーム大阪	LCC1周年記念セミナー 「これも竹で作れる の?!」	基調講演： 藤井 透氏（同志社大学工学部教授） 中村鋭一氏（政治評論家） 『雅楽』演奏 など
2007年6月30日 13:30～19:00	エル・おおさか	第4回異業種交流会 ～同志社コラボネット～ 「文系産学連携を考える ～あなたの参加がカギに なります～」	基調講演： 余語真夫氏（同志社大学文学部心理学科教 授、同志社大学感情・ストレス・健康研究セ ンター副センター長） 講演： タミー木村氏（池坊短期大学准教授・化粧文 化研究センター長、ポジティブメイク主 宰） など
2007年7月30日 18:30～20:00	同志社（今出川） 寒梅館6階大会 議室	文科系産学連携スキーム 検討研究会『文科系の産学 連携事例研究・事例発表』 「誰が介護を担うのか ・ 専門資格を持つ人から辞 めていく介護現場の厳し い現実」	久保真人氏（同志社大学政策学部教授）

## 研究会活動

「同志社大学産官学連携支援ネットワーク」では、“産官学連携に関する研究会等の開催事業”の一環として以下の研究会を立ち上げています。また、会員の皆様が自由な発想で研究会を立ち上げ、自主的な活動を展開することを目的とした「自主研究会」が新たに活動を始めています。

士業研究会 自主研究会

本 NPO には多くの士業の方々が参加されています。そこで当研究会では NPO 会員の士業に対する要望の取りまとめを行い、NPO を通じて集まった士業メンバーの交流の場を増やすことで、会員間のネットワークを強化したいと考えています。また、同業者・同業者以外の知り合いを増やすことで、NPO の活動を支援することに加えて、自らの仕事にもプラスの効果期待できる場となればと思っています。活動内容としては、研究会主催のセミナー（NPO 内外向け）を開催したり、外部機関主催のセミナーに講師として研究会メンバーを派遣することを考えています。また、ベンチャー起業家に助言を行う相談会を開催するなど、士業の専門家が様々な助言を行うことで社会貢献を行うことを目指しています。この研究会に興味のある方であれば、士業であるか否かに関わらず参加を歓迎します。

\* キックオフミーティングを行い、月 1 回程度の研究会を開催しています。

\* CLM(カフェ・ロー&マネージメント)、高槻市商工会議所主催のセミナーなどに講師を派遣済みであり、今後も活発に外部活動を行います。

#### 同志社大学メセナ産学連携研究会 自主研究会

メセナに関心があるが経験がない、ノウハウがないなどの理由から行動をおこせないでいる企業（中小企業）のために、大学の持つ幅広い知的リソースを役立てていただくことで、多様なメセナ活動が展開され、より豊かな社会の実現に寄与することを目的としています（「草の根メセナ活動」）。

活動内容としては、月 1 回程度、研究会を開催し、今後の活動方針や内容について検討を行います。その上で、シンポジウムを開催し、同志社大学のメセナ産学連携に関して広くアピールを行うとともに、中小企業などとの連携によりメセナ産学連携の具体的な活動を推進したいと考えています。この研究会に興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

メセナ〔mecenat〕という言葉は、芸術文化支援を意味するフランス語。今回は、社会貢献の一環として行う、教育や環境、福祉なども含めた「企業の行う社会貢献活動」と、広義の解釈で使用しています。

\* NPO 法人会員である丹波ワイン株式会社様、同志社生活協同組合などとの連携により、「京丹波特産品のブランド化による地域活性化 - 農畜産物生産者と若者による食文化ネットワークの構築 - 」という内容で京都府の平成 19 年度地域力再生プロジェクト支援事業に申請を行い、採択されました。

#### 同志社ブランド・文化資源を活用した産学連携研究会 自主研究会

近年、大学ブランドを活用した取り組みが多く見られます。今後も激化する大学間競争において、大学は様々な取り組みを社会に発信する必要があります。そこで当研究会では、資源を組み合わせ、商品展開を行うことで同志社大学を広く社会に PR することを目的に、同志社大学に眠っている資源を企業・OB・学生の方々のアイデアにより産学連携スタイルで組み合わせ、商品企画・立案するための研究会を開催致します。具体的には以下のことを企画しております。ご関心のある方はぜひご参加のほどよろしくお願い致します。

（研究会内容）

- ・月 1 回程度の研究会開催
- ・商品の企画・立案を行い、(株)同志社エンタープライズ・同志社生協に紹介し、商品展開を行う  
（現在、ペットボトルのお茶とオルゴールに絞って活動を展開中）
- ・人文社会系産学連携の事例を各方面で紹介するためのシンポジウムを開催

#### 地域ビジネスの活性化のための研究会（京田辺市地域）

同志社大学では地域連携充実のために京田辺市との包括協定やインキュベーションオフィス建設など様々な取り組みを展開しています。その一方でキャンパス周辺の開発は進行せず、学生の地域定着率・滞留率が低

いと言われています。そこで、『地域との共生』をテーマに、産学公連携による地域活性化を目的とした研究会を立ち上げ、キャンパス周辺エリアの開発・活性化について定期的な議論と実現に向けた課題検証を行います。当研究会では「同志社大学の発展」と「学生ための街づくり」を目的として、同志社大学と行政、民間各社の参画により中長期的なヴィジョンの策定を目指します。

#### 同志社の保有する特許の技術移転のケーススタディーを行うための研究会

学校法人同志社（同志社大学）は毎年約 50 件ほどの出願をしていますが、社会で実際に活用されるにいたるものはまだ多くありません。その理由としては、“本学の教員がどのような研究をしているのか？”“どのような特許を所有しているのか？”を社会に知ってもらう機会が少ないからだと考えています。そこで、この研究会では、知的財産センターと連携し、本会員の知識、経験、職業ネットワークを用いて、大学所有の特許を広く社会で活用されるための活動を行っています。

#### 文科系の産学連携事例研究会

産学連携活動は理工系に関するものが多く、これまで文科系の連携はあまり見られません。また、文科系の産学連携の事例は、商店街の活性化や自治体基本計画の策定などに限られているのが実情です。このように、人文・社会科学系分野における大学の研究成果が十分に社会に還元されているとはいえない状況にあります。そこで、当研究会では同志社大学の文科系の研究シーズが豊富であることもあり、まずはこの研究成果をモデルとして新しい産学連携の事例を導き出したいと考えています。

- \* 同志社大学文科系教員による事例発表を実施しています。
- \* 6月30日開催の異業種交流会（コラボネット）で活動報告を行いました。（同志社大学文学部心理学科教授、同志社大学感情・ストレス・健康研究センター副センター長の余語真夫氏による基調講演「化粧と心・社会」）

#### ベンチャー支援

##### ・経営支援相談室における起業相談

昨年に引き続き、田中理事による起業相談が行われました。

アドバイザー：田中譲氏（NPO 理事）

##### ・アドバイザーコミッティー

ベンチャー企業などの応援団であり、産学連携の成功事例を輩出すること、大学発ベンチャー企業などの立ち上げ支援を目的としています。NPO に所属する専門家が企業の経営者などの相談に応じます。

（同志社大学連携型インキュベーション施設 D-egg への入居者への相談会の開催）

第 1 回：2006 年 12 月 15 日 3 企業 第 2 回：2007 年 2 月 6 日 4 企業

第 3 回：2007 年 6 月 22 日 3 企業

アドバイザー：五島洋氏（弁護士）、眞下晋一氏（弁理士）、大谷康弘氏（公認会計士・税理士）、入江修二氏（東洋ビジネスコンサルタント代表取締役）、坂倉隆雄氏（ITEC 客員フェロー）、小池和明氏（ダイキンエアテクノ近畿株式会社特別顧問）、永田和彦氏（同志社大学リエゾンオフィス産学連携コーディネータ）

（学生対象）

学生ベンチャー支援としては、ビジネスプランコンテストに神保氏、北浦氏、吉田米次郎氏、吉田雅紀氏、片山先生、松本先生、和田先生の7名の審査員を派遣しました。

#### ・「同大・京銀ベンチャー支援会議」に参画

同志社大学と株式会社京都銀行は共同で、産学連携をさらに発展・充実させ、ベンチャー支援をよりいっそう推進していくため、「同大・京銀ベンチャー支援会議」を設置しており、その委員会メンバーとなっています(委員会事務局はNPOが担当)。当研究会の役割の一つは今年1月に立ち上げた「京都・同志社発ベンチャー育成ファンド」への企業の推薦などを行うことです。

(その他に、同志社大学は池田銀行との連携協定による「池銀キャピタル夢仕込ファンド D/I 投資事業組合」を組織し、投融資制度を持つ)

#### ・第3回同志社大学ビジネスプランコンテスト(2006年12月16日)

法人会員である(株)池田銀行、(株)南都銀行が協賛。

審査員の派遣：神保敏明氏(池銀キャピタル株式会社 代表取締役)

北浦弘順氏(株)南都銀行 バリュースタッフ部長

吉田米次郎氏(同志社校友会大阪支部産学官部会(LCC)会長)

吉田雅紀氏(株)あきない総合研究所 代表取締役)

片山傳生氏(同志社大学副学長)

松本敏史氏(同志社大学商学部教授)

和田 元氏(同志社大学リエゾンオフィス所長・知的財産センター所長：当時)

#### 同志社校友会大阪支部産学連携部会(LCC)との連携 \*Liaison Clover Club

LCCとは以下の連携を行ってきました。

- ・LCC1周年記念セミナーの共催(2006年11月18日)
- ・第4回異業種交流会～同志社コラボネット～の共催(2007年6月30日)
- ・同志社大学リエゾンオフィス、LCCとの合同企画会議開催  
(2006年9月1日、10月6日、2007年3月23日)
- ・NPOの各研究会にLCC会員が参画

#### 広報活動

- ・リーフレット作成
- ・会報の発行(対象：会員)  
第7号2007年1月12日、第8号2007年5月1日、第9号2007年7月31日
- ・メールマガジンの発行(会員、非会員に関わらず、月に1度程度発行)  
No.15～No.28(2006年9月11日～2007年8月9日)
- ・ホームページによるPR(<http://www.doshisha-net.org/>)  
2007年5月リニューアル(新規コンテンツ：会員紹介インタビュー、リエゾン大百科、ベンチャー企業、産学官連携のための法務講座、スタッフBlogなど)  
5月以降は月平均約1,100件のアクセス数に増加。
- ・イベント開催によるPR活動

以上